

みんなでつくる！ 未来の駅前“ひろば”

vol.
01



開催概要

とき 令和7年12月10日(水)
午後6時～

ところ 市役所本庁舎1階 会議室1B

プログラム

1. はじめに
2. 講演/山下裕子氏
(全国まちなか広場研究会理事他)
3. グループワーク
4. まとめ/田中智之氏
(早稲田大学理工学術院教授)

焼津市では、JR 焼津駅周辺を、多様な人・モノ・情報が集まり・交流し、にぎわいが生み出される「いちば」のような、焼津らしい空間に再編することを検討しています。とくに南口は焼津の顔となり、みなさんが楽しく過ごせる広場を計画しており、これから市民の皆さまと一緒に考え、実現していくことを目指します。

このワークショップでは、高校生から子育て世代や地域の方、事業者まで、約50名の方に参加いただき、参加者の皆さんが、みんなで過ごしたい、楽しみたいと思う広場の作り方、使い方を話し合いました。

現在の駅前広場の課題や事業への質問



ワークショップの前半では、現在の駅前広場の課題や改善点、事業に対する質問や不安などもお聞きしました。今回のワークショップではお答えする時間は取れませんが、今後、皆様の疑問やニーズに応えられる機会を作りながら、検討を進めていきます。

1 現在の焼津駅に対する課題

- ・すわる所が少ない。立っている人が多い。ゆっくりしにくい
- ・日常生活の買い物ができない。日常のお店が減った。用がない
- ・居酒屋などはあるが、子どもが食べる、楽しめる場所がない。高校生も焼津駅前では遊ばず、駅前の居場所がほしい
- ・パッとしない見た目。海・港が生きていない。足湯は人気。「魚のまち」が市民にプラスになっていない
- ・駅前はいつも閑散としているイメージ、駅前商店街の空き店舗の活用が進むと良い
- ・夜、暗い道が多い。街灯が少ない

2 整備に対する期待と不安

- ・駅をずっと綺麗にしてほしいと思っていた。今日の講演で他の駅や広場を見ることができて刺激になった
- ・取りあえずそこへ行けば何かある、「なんとなく」「用事がなくても」心地良く過ごせる駅になってほしい！
- ・色々な人が「行きたい」と思えるところになりたい。車通勤でなく電車を利用したくなる焼津駅に
- ・学生が重要。高校生・大学生が勉強・交流する場が欲しい。お子さまたちがあそべる空間も良いと思う
- ・若い方に駅まち空間整備事業を知ってもらいたい。関わる人が増えてほしい
- ・駅前ひろばについているんな人々の思いや意見を聞いてみたいと思っています。まずはそこから
- ・焼津駅に人と待ち合わせの場所がほしい。待ち合わせする空間がほしい。バスを待てる場所も
- ・焼津駅のトイレを大きくきれいに改修して欲しい
- ・駐車場の整備、交通整理、事故防止
- ・駅に広めの屋根やイスが欲しい



3 事業に関する質問

- ・当面の課題は？人が集まるには何が必要？何が人を集めてくるか？インパウンドはないのか
- ・観光客自体が少ないのでそこをどうするのか？観光客を呼び入れる「ホテル」も少ないのでは？
- ・何年ぐらいを目途に空間整備事業を進められるのでしょうか？完成目標は計画していますか。予算は
- ・どの世代を集めるのか。店が先か人が先か。複合施設には、チェーン店を誘致できるのか？
- ・駅前広場の安全性は？交通量が多いので子供たちにとって安全か
- ・駐車場の計画は？駅前から浜通り、八雲通、海までの動線を作ってほしい
- ・足湯はそのまま？広げる？広場を管理するのは市？
- ・このワークショップは駅前広場中心のものなのでしょうか？

ワークショップのアンケートより >> ワークショップ後のアンケートでも様々なご意見をいただきました。今後の事業の進め方やワークショップ運営のうえで、参考といたします。

- ・整備事業の内容を聞いて、絵もみえて良かったし、自分の意見も話げできた。有意義な意見交換ができて良かった
- ・焼津に40年住み続けた身として、非常に有意義なワークショップでありました。様々な意見交換ができ、大変満足
- ・1回目なので何をやるか？が分からなく少し不安が出た。色々な世代の方々とういう話し合いが出来るのは、とても良いことだと思いました。何よりみんなが焼津駅周辺を良くしたい!!と思う気持ちを感じられた会でした
- ・多くの世代の声を聞くことができて楽しかった。どの世代が今何を求めているのか勉強になった。様々な世代の人と関わるのが今まであまりなかったため新鮮だった
- ・それぞれの年代の人たちだったが、結局考える事はみんな同じで焼津に愛があるなとかんじました
- ・焼津市の活性化に向けての取り組みに携わることができてとても良い経験となった。少しでも力になり、だれかの日常にとって大切な場所になるといいです
- ・自分自身の見分・見識を広めるきっかけとなったこと。まちづくりに関することを知って、ことができたこと
- ・WSの内容だけでなく、チーム作りにもつながりそうよかったです
- ・焼津が変わる雰囲気があった

当日の流れ

STEP 01 はじめに 焼津市駅まち空間整備事業について

ワークショップを始めるにあたって、最初に焼津市都市整備課より、焼津市駅まち空間整備事業の概要と検討状況について紹介しました。

事業では、「焼津・未来交流いちば」をコンセプトに、JR焼津駅周辺を多様な人・モノ・情報が集まり・交流する焼津らしい空間に再編することを目指しています。

その中心となるのが、南口に予定されている大きな交流広場です。この広場をどのようにするかを議論したいと投げかけました。



駅まち空間整備事業の整備イメージ 作成：田中智之氏

STEP 02 講演 「身体性を伴ったマーケティングの場として」

全国の様々なまちなか広場の整備・運営支援を手掛ける山下裕子氏より、駅前をはじめとしたまちなかにおける広場の役割と重要性、そしてその効果についてご講演いただきました。



目的地にはならない

(まちなか広場の空間は集客装置にはならない)

目的なくとも出かけた

(用がない時に出かけたくなる期待感をつくる)

講演資料より抜粋



山下 裕子 氏

全国まちなか広場研究会理事。2007年に開業した富山市まちなか賑わい広場「グランドプラザ」のスタッフを経て、2014年から“ひと・ネットワーククリエイター”として活動開始。地域の余地を“用がなくても”“日常的にそこに行こう”と感じられるような機運醸成づくりの際に、地元の伴奏者の立ち位置で活動中。

STEP 03 グループワーク

参加者が7つのグループに分かれ、新しくできる広場に対するニーズやアイデアを話し合いました。

現在の焼津駅に関する課題や感想を共有した後、20枚の様々な広場の写真の中から、参加者が好きな写真を選び、「こんな広場になってほしい」「自分ならこんな風に過ごしたい/使いたい」というアイデアをグループ内で共有してもらいました。

最後にグループごとにキャッチフレーズを付けて、その内容を発表しました。



STEP 04 まとめ

各グループの発表を踏まえて、田中智之先生よりグループワークで出た意見と今後の具体化におけるポイントを総括いただきました。

1. 空間性：明るく、快適で、居心地の良い空間計画
2. 拠点性：集まる、行きたくなる、目的地になるための魅力形成
3. 快適性：誰もが安心して楽しく過ごせるための具体的な機能確保
安全性
4. 地域性：焼津らしさやシンボル性、独自の魅力の発揮



田中 智之 氏

早稲田大学理工学術院教授。博士（建築学）。主な作品に、「熊本駅周辺地域都市空間デザイン」「花畑広場」「熊本県フットボールセンター COSMOS」など。アドバイザーとして、焼津市の都市づくり、まちづくりに幅広く関わっている。

参加者みんなが考えた新しい駅前広場のキャッチフレーズ

様々な人が集まり、様々な使い方ができる柔軟な広場

A グループ ゴムまりのような広場

思い思いの使い方や過ごし方が出来る柔軟な広場になってほしいという意味を込めました。

E グループ 日常的ににぎわう駅前広場

イベント時だけでなく日常的なにぎわいがほしいという意見が多くありました。

D グループ よくばり広場

大屋根の下にワクワクする場がある、くつろいでしゃべれる、さぼれる、ととのう、食べれる、映える、なんでもできる広場になってほしい。



大屋根を広場の中心に！

G グループ 大きな屋根の下で ～大人も子供も多世代がのんびり過ごせる広場～

参加者の全員が広場に求める機能として「屋根」ができました！そこで様々な人が過ごせる広場になってほしいです。



C グループ 明るい屋根のある いつでも、どこでも、何にでも使える広場

屋根を中心に多様な使いかた、過ごし方が出来る広場になってほしいです。



おもてなしの玄関口へ

B グループ Welcome 焼津

焼津駅周辺には来訪者の「おもてなし」空間が少なく、「Welcome」と感じる空間を作りたいという思いを込めました。



F グループ 温泉駅

駅前足湯を活かしたい思いを込めました。



理想の広場と過ごし方



いつでも座れる居場所を大事に

みんなで選んだ
写真



こうなったらいいな

座れる場所がたくさん

- ・少しの時間を過ごせる所がある。みどりと影と座る場所が良い
- ・階段状の座る場所があり奥行きがあるのでイベント等で活用できそう
- ・広々と感じられる、学生や子どもがたくさんいても窮屈に感じない
- ・ワークショップなどを行いやすい空間を作る。テーブルとイスが屋根の下にアトラダムに置かれているから
- ・買った物を食べれる、ちょっとしたテーブル・イス（くつろぎ）
- ・座れるスペースがあり、きれいで普段こない人もくるようになる

足湯のあるおもてなしの居場所づくり

- ・「おもてなし」の空間を創出したい（駅周辺に何があるのか分からない）
- ・焼津にある足湯を活かしたスペースがあると良い
- ・現状の焼津駅からイメージしやすい、足湯を拡大し活かしたい
- ・焼津には海・富士山・温泉などのコンテンツが複数あるので、駅（玄関口）にある程度シンプルさが欲しい

夜も楽しく安全に

- ・夜でも明るく、安全に、過ごせる雰囲気になったらうれしい
- ・イルミネーションがかわいい。目の引くものが1つでもあると面白い
- ・キッチンカーやお店があり人も出てきて、にぎわいがある
- ・イルミネーションがきれいでも人が座るスペースもある
- ・明るくて安全、安心できる



こんな風に過ごしたいな

24時間過ごせる場所に

- ・一日の流れが始まるであろうスタート、ゴールに。女性に優しい駅で
- ・散歩の途中のひと時に座ってゆっくり休む。コーヒーを飲んだり。夜でも昼間でも使いたい。友達とも使いたいし、子どもの場所になると良い
- ・子供が自由に遊んでる様子をゆったりくつろぎながらながめてたい
- ・日常として、くつろげる場所に
- ・疲れた時に休憩したり憩いの場として利用したい
- ・朝は散歩とコーヒー、昼はランチ、夜は屋台などずっといられる場所。休日はイベントとして使えるといい
- ・晴れでも雨でも、いつでもゆっくり過ごす
- ・景色を見ながらゆったりしたい
- ・足湯などを活用してのんびり過ごしたい

テイクアウトと一緒に

- ・夜に学校帰りにイルミネーションを見ながらくつろいで休憩しながら友達・恋人と話す。すぐ近くにお店があって食べ物とかを買ったついでに
- ・「たこすま」や「チェリビ」などテイクアウトしたものを食べる
- ・友達と放課後におしゃべり

音楽やイベントと一緒に

- ・マルシェなどもあったりしたら駅降りて足を止めて見てみたい
- ・その間にバスの時間を待ったり
- ・コーヒーを飲みながら、音楽を楽しめる場所に
- ・アーティストに使ってもらいたい



まちなか広場（愛知県豊橋市）



なんば広場（大阪府大阪市）



メディアコスモス（岐阜県岐阜市）



One Bangkok Urban Park（タイ・バンコク）



グランドプラザ（富山県富山市）



屋根のある広場に期待



こうなったらいいな

天候や気候に左右されない居場所

- ・夏は涼しく、冬は暖かいと嬉しい
- ・天候に左右されにくく、留まるのに都合が良い
- ・大きい屋根がある。天気は左右されず集まれる。明るさをキープしながらイベントができる
- ・焼津は、海が近いので風が強い
- ・雨の日でも安心でき、商店街にいけることが魅力
- ・屋根があり緑があり、お店がある。テーブル・イスでゆっくりランチできそう

子どもとみどりで過ごせる場所に

- ・子連れには屋根があるところがよい
- ・緑が豊かで、公園にいるようないやしの空間がよい
- ・大きな建築物と緑のコントラストが気持ちいい



こんな風に過ごしたいな

ゆっくり過ごせる場所に

- ・広いところでゆったりしたい。一人でも過ごしたい
- ・紅茶かおいしいさしみをつまみにビールを飲む
- ・晴れでも雨でも、いつでもゆっくり過ごしたい
- ・待ち合わせより少し前に行き、読書して過ごす

イベントや交流を楽しむ

- ・休日はイベントを開催したり、マルシェ会場として
- ・出店のお弁当スナック等をゆっくり食べながら、自分の時間をもちたい
- ・待合せしたり、お茶をのみながら交流を楽しみたい
- ・ぶらぶらと散歩したい
- ・子供が自由に遊んでる様子をゆったりくつろぎながらながめていたい

みんなで選んだ
写真



グランドプラザ（富山県富山市）



Tanjong Pagar Park（シンガポール）



子どもも楽しめる広場に



こうなったらいいな

子どもが遊べる場所に

- ・市内で水あそびできる場所がない（少ない）
- ・公園みたいな感じでいいかなと
- ・気になるような物体がある



こんな風に過ごしたいな

子どもと楽しく過ごしたい

- ・夏のあつい日に子どもを（幼児）をあそばせて、時間をつぶせると嬉しい
- ・孫とあそびたい
- ・子供達が遊んでいる様子を眺めながら、ゆっくり過ごしたい

みんなで選んだ
写真



Granary Square（イギリス・ロンドン）



富山県美術館（富山県富山市）

理想の広場と過ごし方



自由な芝生の空間も嬉しい



こうなったらいいな

緑に囲まれる自由な場所へ

- ・みどりがある広場。みどりを育ててシビックプライドを育むことができる
- ・子供から大人まで自由に好きなことができそう
- ・複合的な空間が良いと思いました
- ・きれいな芝生がきもちいい。特別なものが無くても人がたむろしている
- ・広い場所が自由に使用できる
- ・どこにでも座ることができる

イベントもスポーツも

- ・スポーツがすぐできることで手軽に時間をすごし気軽に人と交われそう
- ・イベントができそうな広場、のんびりできそうな芝生、お店が合わさっているところ



こんな風に過ごしたいな

みんなでのんびりしたい

- ・リビングやカフェの様にゆっくり過ごす。対話する
- ・コーヒーとお菓子を買ってのんびり友達と話す
- ・だらだらする
- ・ただのんびりとした空間の中で
- ・出かける前後、そして待ち合わせの時にゆっくりコーヒーを飲んだり、本を読んだりして過ごしたい。または、広場で朝市やフリーマーケットなどが開かれていれば参加したい！
- ・待ち時間にいろんな人と勝負したり

みんなが選んだ写真



Quartier des spectacles (カナダ・モントリオール)



ヒサヤオドリパーク (愛知県名古屋市)



街並みと一体の居場所づくり



こうなったらいいな

お店と一体の空間づくり

- ・ちょっと休憩できる 街並みとマッチングしていて雰囲気が良い
- ・色々なおみせがあって行きたいと思える
- ・店舗に入らずにランチ、カフェを外で自由にしていると楽しそうな雰囲気ができる。人が集まるきっかけになる。ヨーロッパのカフェの風景にあこがれている



こんな風に過ごしたいな

気軽に立ち寄れるひととき

- ・友人や子供との会話が楽しめそう
- ・学校帰りに行きたい
- ・至福のひととき。カフェをしながらおしゃべりしたり、一人でのんびり本を読みたい。たまには日差しを浴びてランチしてみたい

みんなが選んだ写真



サンキタ通り (兵庫県神戸市)



多様な出来事が生まれる駅前に



こうなったらいいな

多様な出来事であふれる広場に

- ・多くの人が好きなように過ごすことができていそうに感じた。みんなが好きに縦横無尽に入れる場所になると良いな
- ・何も準備せずに行ける。行く価値がある(目的になる)
- ・ちょっとしたイベントができそう
- ・年1回でも、月に1回でも何かが出店していると嬉しい
- ・普段あまり行かないお店が出店していれば、珍しいものに出会えるかもしれない
- ・普段知らないお店が色々があると楽しい
- ・ついでに広場に寄るといよりも、広場を目的として人が集まるようにできたら良いのでは
- ・祭り(文化)と食(店舗)がある。夜も楽しめる空間が欲しい

焼津らしさや季節感を感じられる場所に

- ・焼津と言えば魚なので、お魚、野菜、雑貨などの朝市を定期的に行って、他の市の方にも来てもらいたい。朝市が有名になると良いと思います。佐賀の呼子みたいに朝市が有名になったらいいな
- ・やぐら、スペースのシンボリックな物 テーマごとに装飾があるといい。大漁旗や盆おどり、Xmas ツリー、魚がしなど



こんな風に過ごしたいな

毎日違ったすがたを見たい

- ・フラッと寄れる空間にしたい。まわりには様々なお店が！
- ・マルシェや屋外映画など日々様変わりする広場を楽しみたい
- ・その時々のお店を子供と一緒にまわりたい
- ・だれかのやりたい(イベント)をお手伝いしたい
- ・駅を利用した時にフラッとのおいでみたい
- ・のんびりお店を見たい、買い物したい
- ・朝市で買ったものを食べるスペースで、お茶しながら食べたり、まったりしたい
- ・食べ歩く

一年中、魅力的な目的地に

- ・色々な世代と交流。夜でも治安よく
- ・家族、仲間とフラッと立ち寄る集合場所に
- ・リビングやカフェの様にゆっくり過ごす。対話する
- ・コーヒーとお菓子を買ってのんびり友達と話す
- ・夏はアイス、冬は温かい飲み物を飲みながら一年中過ごせる(キッチンカーがでると楽しそう)



みんなが選んだ写真



Grand Plaza (富山県富山市)



豊田市駅ペDESTリアンデッキ (愛知県豊田市)



まちなか広場 (愛知県豊橋市)



Place de la Paix (カナダ・モントリオール)



花畑広場 (熊本県熊本市)